

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

子ども

対象学年・  
取り扱った教科等

全校生徒

目標・人権教育のねらい

- ・生徒の人権意識を高め、いじめのない、からかったりすることのない仲間づくりに取り組む。

実施した内容

- ・1学期の始業式にあわせて、「充実した高校生活をおくるために ～人権感覚を育てましょう～」と題したポスターを作り、全ての教室に掲示し、担任から一言説明をしてもらった。
- ・2学期の始めには、コロナによるいじめや差別が起こらないように、コロナによるいじめや差別が起こるしくみ、感染症を防ぐにはどうすればよいかをまとめたポスターを作り、全ての教室に掲示した。

工夫した点

- ・生徒の置かれている状況に合わせて人権厚生課からのポスターを作り、教室に掲示してもらうことで、いじめや差別が起こらないように努めた。

他教科との  
関連

特別活動

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

障がい者

対象学年・  
取り扱った教科等

1年生 人権LHR

目標・人権教育のねらい

- ・ 障がいを持つ人の思いを知り、障がいを正しく理解する。
- ・ お互いを認め合い、共に生きる社会を築くために自分が今できることを考えさせる。

実施した内容

- ・ NHKで放送された番組「日本一静かで 笑顔あふれるカフェ」を視聴し、振り返りシートを記入させた。
- ・ 生徒の感想をまとめ、教室に掲示する。

工夫した点

- ・ 1年生に聴覚障がいを持つ生徒がいる。その生徒も前向きに考えられる内容で、さらに、生徒が興味関心を持ちやすい身近な話題を選んだ。
- ・ 視聴後は、各自が障がいを持つ人と同じ社会で共に支え合って生きていくためには、どのような行動をとるべきかを考えさせた。

他教科との  
関連

産業社会と人間・総合的な探究の時間

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

2年生 人権LHR

目標・人権教育のねらい

- ・「身近な人権」を題材に人権が侵害されていることについて様々な立場の人の気持ちを考え、不合理性に気づき、いじめが重大な人権侵害であることを理解させる。
- ・身近な人権を守るために、自分ができていることを考えさせる。
- ・部落問題学習の事前学習としての取り組みとする。

実施した内容

- ・ワークシートの「いじめ」の場面を見て、登場人物の気持ちや自分の考えを話し合わせた。
- ・「いじめ」を繰り返さない、また、エスカレートしないようにするためには、周囲の人はどのようにすればよいか考えさせ、グループで話し合わせた。
- ・身近な人権の問題は様々あるが、今回は「部落問題」を考えることを説明し、「部落差別の解消の推進に関する法律」を紹介し、「部落問題」へのアンケート（意識調査）を行った。

工夫した点

- ・「いじめ」について、直接行為を行っている者だけでなく、周囲の者もこの状況を生むことに関与していることに気づかせるようにした。
- ・グループでの話し合いでは、率直な感想や思いを出し合わせるようにした。生徒から被害者にも原因があるという意見が出た場合でも、その事でいじめていい理由にはならないことを押さえた。

他教科との  
関連

社会

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

外国人

対象学年・  
取り扱った教科等

2年生 人権 LHR

目標・人権教育のねらい

- ・人としてそれぞれの多様性を認め、互いに理解し、共生していく視点を育てる。
- ・国際的な視野・人権感覚を持った人を育てる。
- ・特に国際化社会の中で外国人と接する機会が増えている中で、共に生きていく意識を育てる。

実施した内容

- ・「異文化を考える」をテーマに、本校の中国語の講師から実際に中国から日本に来て感じたことを話していただき、「ものの見方、考え方」の共通点と違いに対する理解を深めた。
- ・講演会后、振り返りシートを書くことで各自が得たことを確認し、考えさせる機会とした。
- ・振り返りシートをまとめたものを教室掲示し、お互いの考えを確認させた。

工夫した点

- ・日本と外国の「当たり前」を具体的に比較し、多様性への理解を図った。
- ・講演では、日常の身近な例（日本に来て戸惑ったこと、日常生活での戸惑いなど）をあげて貰うことで、生徒の理解を深める手立てとした。
- ・生徒に対しては前述の身近な例などから、色々な文化を受け入れていく必要性、外に出た時に「当たり前」は「当たり前」ではないことに気づかせるようにした

他教科との  
関連

社会

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・  
取り扱った教科等

全校生徒 LHR

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病の歴史・正しい知識を学び、なぜ偏見や差別が起きるのかを考えさせる。
- ・新型コロナウイルスにおいても同じであることを気づかせる。
- ・感染者にどのような関わり方、支援ができるのかを考えさせる。

実施した内容

- ・滋賀県湖東地域の高校生が、校種・課程の違いを超えて共通の映画を鑑賞し、差別や人権について考える事業として、ハンセン病を扱った映画「あん」を鑑賞した。その後、各クラスで話し合いを通して、人間や社会についての見方や考え方を深めさせた。

工夫した点

- ・鑑賞後の統一LHRは、各クラスでグループを作り、グループ内で話し合ったことをクラスで発表させた。司会・進行は、各クラスの人権委員とグループの班長が担当した。各クラスでの発表後は、人権委員がクラスの意見をまとめ、生徒中心のHR活動を実施することにより、身近な問題として考えられるようにした。

他教科との  
関連

保健体育

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

1年生 LHR

目標・人権教育のねらい

- ・本校でもSNSに関わる問題が起きている。生徒に基本的なルールやマナーを周知するとともに、被害者や加害者にならないよう危機意識を高める。
- ・情報との関わり方を考えさせる。

実施した内容

- ・NTTドコモ ケータイ安全教室事務局から講師を招き、1年生を対象に講演会を実施した。
- ・ネットトラブルへの対処方法やケータイを使う上でのルール、マナーに加え、被害者の立場、加害者の立場、それぞれの観点から具体的な事例やドラマを入れていただいた。

工夫した点

- ・ネットトラブルへの対処方法やケータイを使う上でのルール、マナーに加え、被害者の立場、加害者の立場、それぞれの観点から具体的な事例やドラマを入れてご講演いただいた。

他教科との  
関連

社会と情報

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

性的指向・性自認

対象学年・  
取り扱った教科等

1年生 人権LHR

目標・人権教育のねらい

- ・多様な生や性の在り方について考え、理解する。
- ・自他の生命や人権を尊重する精神と態度を涵養する。
- ・自分の生き方を追求する力や自立して心豊かに生きる力を育成する。
- ・日常生活における矛盾や差別の不合理性に気づき、解決していく力を培う。

実施した内容

- ・「性の多様性」とは何か、私たちはどうあるべきかを考えさせた。
- ・身近にある差別の不合理性についての具体例を挙げ、人権とは何かを考え、互いの学びを深められるようにした。（ワークショップ形態）
- ・仲間の意見を聞き、自分の意見を主張しつつ、互いの人権を尊重し合うとともに、人間や社会についての見方や考え方を深め、現代の生き方をともに考えさせた。

工夫した点

テレビ番組等のメディアによって脚色された「性の多様性」の情報を、生徒達は間違いであることに気付かずにそのまま受け止めることが少なくない。正しい知識を身に付けさせ、彼らが抱えている問題点を捉えさせるとともに、少数派や多様性を受け入れることができる寛容な精神を養うことを目的とした。

他教科との  
関連

産業社会と人間

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

学校名

滋賀県立彦根翔西館高等学校

人権課題

生命

対象学年・  
取り扱った教科等

3年生 人権LHR

目標・人権教育のねらい

- ・自分の命がかげがえのないものであることを知る。
- ・自らの生き方を見つめ、自他の命を大切にできる態度を養う。
- ・障がいのある人の思いや生き方を理解する。
- ・すべての人と共に生きていく社会を築こうとする態度を身につける。

実施した内容

パラリンピック・シッティングバレーボールに出場された方を講師にお招きし、講演会を実施した。講演会の後、振り返りシートを記入させた。後日、提出させた振り返りシートをまとめたものを教室に掲示した。

工夫した点

障害を持っていても前向きに生きておられる人の話を直接聞くことで、生きるということ・命の大切さを自分の事として考えられるようにした。また、全生徒に義足を触れさせていただいた。

他教科との  
関連

保健体育 ・ 家庭